

質疑 及び 答弁

一般会計

Q 将来的にほたる舟の運航を民間委託することについては、どのようなことを考えているか。

A 業として成り立つ段階での民間委託という点については、イベント基金を充たせず乗舟料だけで運営ができれば想定されるかもしれないが、現段階では広く町民からボランティアを募り、運営していくことが一番いいのではないかと考えている。

Q 公債費の推移は、今後どのようなようになっていくか。

A 償還の山は15年度になっていく。15年度から16年度は、ほぼ横ばいであるが、その後は借入金も落ちてきているため、償還も減っていく方向である。

Q 小型合併処理浄化槽補助金支給の算定にあたっての説明を。

A 15年度の補助金支給は、基準額に町で上乗せする分を5割減で補助を行っている。



昨年実施され好評だったホタル舟

Q ダム公園管理委託の中で地域緊急雇用対策事業があるが、主にどのような内容か。

A 県道鶴田大口線沿いに桜が1000本程度植えてあるが、老木や、テングス病等で枯れているものがある。ここに桜協会より約200本の桜を寄贈していただき、植栽を予定している。

Q 15年度は骨格予算であり留保事業があると思うが、その種類とそれに見合う留保財源はどのようにされるのか。

A 留保事業は新規事業を8件予定している。留保財源は厳しい財政状況の中であるが、起債事業等で検討しながら、優先順位、必要性等を十分検討し進める。

Q 固定資産税が減額になっている理由を。

A 平成15年度は評価替えであり、全体的に土地、家屋とも評価額に補正率をかけたことにより落ち込んでいる。

予算特別委員会

本委員会に付託された6会計について審査しました。主な質疑及び答弁の概要は次のとおりです。

審査の概要

Q あびる館の費用抑制として、昨年、社員の手当カットや、社員に目標を設定させそれに向けて努力しているとのことであったが、15年度はどういう取り組みをされるか。

A 歳出を圧縮し経費節減に努めていきたい。社員にも努力していただき、売り上げを伸ばす方向で取り組んでいく。

Q 現在の机、いすは古い規格のもので調整がでない作りになっている。今の児童・生徒は体格もよくなっており、新しい規格のもので、調整ができるものを購入したいと考えている。

A 現在の机、いすは古い規格のもので調整がでない作りになっている。今の児童・生徒は体格もよくなっており、新しい規格のもので、調整ができるものを購入したいと考えている。

Q 自治公民館活性化事業は原則一校区一集落ということだが、実施しない校区がある場合、他の校区で実施することによって実施することもあるか。また、補助金の使いみち等の指導はされていないか。

A 一度実施している集落への補助はしない考えである。また実施していない集落であれば、校区を越えて実施することも検討していきたい。補助金の使いみちは、集落が活性化できればということ、限定していない。

Q 一般会計への繰出金が822万1千円計上されているが、詳しい説明を。

A 14年度の国の県の負担金に不足が生じたため、補正予算で一般会計より繰り入れていく。その精算分が15年度に入ってくるためである。

介護保険特別会計

Q 平成14年10月から施行された法の改正による減も考えられるか。

Q 紫尾簡水で水質検査の結果、大腸菌が見つかったとのことであるが、詳しい説明を。

簡易水道事業特別会計

Q 紫尾簡水は表流水を水源としていることから、ほ乳類のふんや死骸等が入りやすくなっている。それが原因でクリプトスポリジウムという菌が発生する恐れがある。これを未然に防止するため、高感度濁度計を設置し、監視するものですか。

老人保健医療特別会計

Q 医療給付費が昨年より7千万程度減額になっているが、見積りの根拠は。

A 14年度の精算見込額に伸び率をかけて算出した。

中央地区簡易水道事業会計

Q 15年度計画されている区域拡張・水量拡張事業の目的は。

A 大角・櫃ヶ迫・迫川内地区は表流水や湧水等を



スポーツ少年団や水泳教室で利用されているあびる館(プール)

Q 15年度計画されている区域拡張・水量拡張事業の目的は。

A 大角・櫃ヶ迫・迫川内地区は表流水や湧水等を